

医療事故情報収集等事業 第17回報告書のご案内

1. 報告の現況

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業 (対象：平成21年1月～3月に報告された事例)

表1 報告件数及び報告医療機関数

		平成21年			合計
		1月	2月	3月	
報告義務 対象医療 機関	報告件数	186	151	201	538
	報告医療 機関数	134			
参加登録 申請医療 機関	報告件数	7	12	15	34
	報告医療 機関数	23			
報告義務対象医 療機関数		272	272	272	-
参加登録申請医 療機関数		260	260	262	-

第17回報告書15～18頁参照

表2 事故の概要

事故の概要	平成21年1月～3月	
	件数	%
指示出し	4	0.7
薬剤	28	5.2
輸血	2	0.4
治療処置	175	32.5
医療用具等	37	6.9
医療機器	16	3.0
ドレーン、チューブ類	19	3.5
歯科医療用具	2	0.4
検査	26	4.8
療養上の世話	206	38.3
その他	60	11.2
合計	538	100.0

第17回報告書25頁参照

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業 (対象：平成20年10月～12月に発生した事例)

- 1) 参加登録医療機関：定点医療機関数 236施設, 定点外医療機関 901施設
- 2) 報告件数 (第17回報告書49頁参照)
 - ①総報告件数：58,693件 (報告医療機関数 302施設)
 - ②分析対象：全般コード化情報 57,915件, 記述情報 1,474件

2. 医療事故情報等分析作業の現況

報告された事例については、個別のテーマを設け医療事故情報とヒヤリ・ハット事例を併せて分析を行っています。今回の個別のテーマの検討状況は下記の通りです。

- (1) 薬剤に関連した医療事故 (第17回報告書 67～106頁参照)
- (2) 医療機器の使用に関連した医療事故 (第17回報告書 107～130頁参照)
- (3) ベッドなど病室の設備に関連した医療事故 (第17回報告書 131～137頁参照)
- (4) 患者取り違えに関連した医療事故 (第17回報告書 138～181頁参照)

3. 共有すべき医療事故情報 (第17回報告書183～197頁参照)

報告された事例の中から、専門分析班等の検討により広く共有すべきであると考えられる事例をとりまとめています。今回の「共有すべき医療事故情報」は下記の通りです。

事例内容	報告件数
アルチバの急速投与に関連する事例	1件
酸素ボンベ残量の管理に関連した事例	2件
酸素の中央配管供給に関連した事例	1件

〔 * 詳細につきましては、第17回報告書及び本財団のホームページ (<http://www.med-safe.jp>) をご覧ください 〕